

100

交通部及航務局 中華民國二十三年十月十四日

第一節 宗旨

一、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
二、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
三、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
四、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
五、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
六、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
七、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。  
八、本會以研究及推廣航空婦女之福利為宗旨。

支那保航婦女會 同人

警務處  
警務官  
外事課長  
事務官

中華民國二十三年十月十四日

主任

丙



行

十一月八日



四

日

主任

主任

主任

主任

本日南支派遣軍古莊部隊參謀陸軍  
航空兵少佐久門有文及陸軍省徵募課  
長弓南支派遣軍ノ慰安所設置ノ有必  
要ニ付 醜業ヲ目的トスル 婦女約 <sup>四百</sup>名  
ヲ陰謀謀略 <sup>渡航セル様</sup> 視察アリタレトノ申立アリ  
ニ付テハ、本年二月二十三日迄者各是第五梯

通譯ノ語者、依リ之ヲ取扱フコトトシ、左記ノ各地

方垂、<sup>通譯ノ語者</sup> 實況ニ通譯者ナシ、<sup>婦女</sup> 槍立ヲ送定ル

之ヲシテ、<sup>婦女</sup> 募集セシメ、現地ニ向ハシムル 採取計

相成、可也哉

通譯ノ語者、依リ之ヲ取扱フコトトシ、左記ノ各地

約三百名、<sup>渡航</sup> 採取ノ手配、執行ナシ

内地に於て募集し現地の向しを以て破棄し目的

ト云ふ婦女約百名程子

外に募集し進行せしむるに於て内地に於て募集し進行せしむるに於て

トレ、大改(一〇〇名)、京都(一五〇名)、兵庫(一〇〇名)

福田(一〇〇名)、山口(五〇名)

ヲ割愛す海に於て其ノ川平着(抱主)ヲ選定

レテ之ヲ募集せしめ現地の向しを以て

二 右川平着(抱主)の現地の軍送安所ヲ決す

右の如く十名に付持身破産たる者ヲ選定せん

其ノ川平着ハ選定せらる

(内地より台湾を控へて抱主ノ費用シテ元庫行し同地より大伴

三 右航婦女ノ薪炭運送ノ中得ん限

細心にて行はせしめ、場合に依り内地用船ニ便業

内地に於て向しを以て。尚右に依り難中切

令「台湾有難渡車」等之定期便船  
之「他」等、!! 早着同行云々ト

四、在「件」内云々之連絡に付テ、  
陸軍省に渡幕由

又參謀部より「第一」甲令開示  
之「第二」等、尚地理、軍司令部等  
未少之「第三」等云々。

五、以上ノ外尚之等婦女ノ必要ト云々  
均答、

又古莊部隊在部又々軍持林部  
之「第四」等

戸南支隊遣軍、対云々、全部ノ統

一、引率ノ許可證ヲ交付云々  
標云々扱、

二、トト云々（之、同參謀部軍ノ上直ニ各  
部隊

本件は航ニ付テ、内務省及地方官ニ  
之ヲ婦女ノ募集及出港ニ用シ、  
其ノ地位宜ニ  
之ヲ保護スルニ  
務メ、其ノ内  
容及地理ニ  
於テ、婦女ノ  
保護ハ軍、  
於テ充分注意  
スルニ  
務メ、  
此ノ上、  
他ノ且、  
本年二月  
予テ、  
學ヲ通  
譯シ、  
手  
送シ

在「件」内航婦女ニ對シテ、左記ニ依リ、各地方ニ

於テ取扱ハシムル事ト

引率者(抱主)

(1) 現地、於其責任、已任管者(抱主)又(管理

者)ヲ必要トスル付、~~其~~ 職責ヲ目的トシテ

任航云婦女ノ引率者、自身元々持

確實ト有テ、~~其~~ 拘管、且相管、~~其~~ 職責

婦女ヲ引率シ起地、到リ、~~其~~ 安所ヲ

任管シ、得心、~~其~~ 送送、~~其~~ 送送

南支派遣軍、~~其~~ 対スルモノ全部ヲ統

引率許可證ヲ交付スル、~~其~~ 拘取扱フコト

トス(久回參謀歸軍、~~其~~ 上面、各部隊

ニ対シ、~~其~~ 与テ送ス)

右件任航、~~其~~ 付テ、内務省及地方廳、之が

婦女ノ募集及出遣、~~其~~ 團ニ便宜ヲ供與ス

ルニ止メ、契ノ内容及現地、於此婦女ノ保  
護ニ軍ニ於テ充分ノ注意ニ

七、以上ニ依リ且本年二月二十三日警保局長通

牒ヲ考電シ、其件係航婦女ニ対シテ左

部ノ如ク前記各府縣ニ通牒シ之ヲ取扱ハ

レムト  
(不兩故電送シ及テ送付シ)

通牒案

警保局長

警保局警發甲第一三六號

十月二十日

大政、山、  
多、  
兵、  
各府縣知事宛

川九各二三、  
手定、  
保、  
保

南支方面に航婦女ノ取扱ニ関シ

支那に航婦女、同レテハ、  
二月二十

三日に於テ、  
通牒ノ次第ニ

有レ、  
南支方面ニ於テ之ノ事、